

物産販売コーナー

今年も、地元の新鮮な農作物や加工品を販売している「もやい市」、地元商工業者による「はびまる」が開催されました。また、「防災啓発コーナー」も設けられ、配布用に用意されていた500食の非常食は、すぐに無くなりました。



丁寧に作られた雑貨や、地元の農産物が並びます



防災啓発の展示に興味深そうに見る人たち

経験などもある巻さんが登場。司会者からインタビュースされ、突っ込んだ質問などもありましたが、笑顔で爽やかに答えました。

諸連絡などが行われると、次は準備体操。担当したのは、去年に引き続き、熊本県エアロビクス連盟の大村詠一さん。ステージ上で元気良く大きな声でリードしながら、下半身だけでなく上半身もしっかり動かし、全身の筋肉をほぐしました。

スタートが間近に迫ると、ランナーたちは「ジョギングフェア」と大きく書かれたアーチの下に集合。ピストルの音が鳴り響くと、スタートラインから一斉に飛び出しました。全力疾走の人も、新緑を楽しみながらゆったりと歩く人も思い思いのゴールを迎えた後、給食センターと婦人会による食事の提供が行われました。今年は給食センターが復旧したこともあり、腕によりをかけた炊き込みご飯や具材たっぷりの豚汁が振る舞われ、走り終えたランナーたちの空腹を満たしました。

昼のアトラクションでは、益城復興大使でもある津軽三味線演奏家・作曲家の高崎裕士さんによる力強い演奏が披露され、途中、予

定されていたなかった巻さんとの共演も実現。初めてとは思えない巻さんの演奏に高崎さんも驚きを隠せない様子でした。

閉会が宣言されると、いよいよお待ちかねのお楽しみ抽選会。今年も豪華賞品が用意され、当選番号が発表されると、ジョギングの疲れもそっちのけで、駆け足で賞品を取りに来る姿も。司会の村口省三さんは、今年も軽妙なトークで、会場に笑いを溢れさせました。

5月とは思えないような日差しの強さにも負けず、ランナーの爽やかな笑顔いっぱいとなった27回目のジョギングフェアでした。



大会を支えた人たち

他にも、多くのボランティアに支えられ、開催されました。



上・会場を盛り上げた大村さん(左)と村口さん(右)
下・昼ご飯を配膳する婦人会

大会の主役たち

素敵なお顔で応援してくれました。来年もまたぜひ！

